

消化酵素剤

※オーネス®ST配合錠

OHNES ST Tablets

貯法	室温保存
使用期限	外箱、容器に表示

承認番号	22100AMX00823000
薬価収載	2009年9月
販売開始	1989年10月

【禁忌（次の患者には投与しないこと）】

- （1）本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者
- （2）ウシ又はブタたん白質に対し過敏症の既往歴のある患者

【組成・性状】

組成	
ビオチン	15mg
セルラーゼ AP3	5mg
ニューラーゼ	10mg
プロザイム 6	4mg
膵臓性消化酵素 TA	50mg
添加物	トウモロコシデンプン、乳糖水和物、結晶セルロース、カルメロースカルシウム、ヒドロキシプロピルセルロース、ヒプロメロースフタル酸エステル、ステアリン酸マグネシウム、軽質無水ケイ酸、タルク、酸化チタン、マクロゴール 6000、ヒプロメロース、ミツロウ

製剤の性状

オーネスST配合錠は直径約 7.1mm、厚さ約 4.3mm、質量約 150mg の白色フィルムコーティング錠である。

【効能・効果】

消化異常症状の改善

【用法・用量】

通常成人1回2錠を1日3回食後に経口投与する。年齢、症状により適宜増減する。

【使用上の注意】

（1）副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。

その他の副作用

下記の症状があらわれた場合には投与を中止すること。

	頻度不明
過敏症	配合成分膵臓性消化酵素 TA（パンクレアチン）によるくしゃみ、流涙、皮膚発赤等

（2）適用上の注意

1）服用時

本剤は腸溶性皮膜を施した成分が配合されているので、噛んだり砕いたりせずに服用すること。

2）薬剤交付時：PTP包装の薬剤はPTPシートから取り出して服用するよう指導すること。（PTPシートの誤飲により、硬い鋭角部が食道粘膜へ刺入し、更には穿孔を起こして縦隔洞炎等の重篤な合併症を併発することが報告されている。）

【有効成分に関する理化学的知見】

<胃溶性顆粒>

○ビオチン 2000

アスペルギルスに属する糸状菌を培養し、抽出、精製した酵素で、主として、でんぷん消化力、蛋白消化力、繊維素消化力を有する。活性 pH 域は 3.0～9.0 である。

○ニューラーゼ

リゾプスに属する糸状菌を培養し、抽出、精製した酵素で、蛋白消化力、脂肪消化力を有する。活性 pH 域は、2.5～4.5 である。

○セルラーゼ AP3

アスペルギルスに属する糸状菌を培養し、抽出、精製した酵素で、繊維素消化力を有する。活性 pH 域は、3.0～7.0 である。

<腸溶性顆粒>

○膵臓性消化酵素 TA

主としてブタの膵臓から製した酵素で、でんぷん消化力、蛋白消化力、脂肪消化力を有する。活性 pH 域は、6.0～9.0 である。

○プロザイム 6

アスペルギルスに属する糸状菌を培養し、抽出、精製した酵素で、蛋白消化力を有する。活性 pH 域は、5.0～8.5 である。

【取扱い上の注意】

安定性試験¹⁾

最終包装製品を用いた加速試験（40℃、相対湿度 75%、6 ヶ月）の結果、オーネスST配合錠は通常の市場流通下において3年間安定であることが推測された。

※※【包装】

（PTP） 100錠、1,000錠、6,000錠
（バラ） 1,200錠

【主要文献】

1) 鶴原製薬株式会社 社内資料

【文献請求先】

主要文献に記載の社内資料についても下記へご請求ください。
鶴原製薬株式会社 医薬情報部
〒563-0036 大阪府池田市豊島北1丁目16番1号
TEL：072-761-1456（代表） FAX：072-760-5252

